

明石公園「青天を仰ぐ木」「こもれびの小径」

明石公園には木の中に入り込んで、その内側から青天を仰ぐことができるスポットがあります。その木は、ヤマモモの古木で、剛ノ池の東側の林内にひっそりとたたずんでいます。この古木及びその周辺を整備し、「青天を仰ぐ木」と命名しました。明石公園のパワースポットとなることを期待しています。

また、「青天を仰ぐ木」の設定に合わせて、木漏れ日が降り注ぎ、気持ちの良い森林浴が楽しめる小径を整備し、新たに「こもれびの小径」として設定しました。



青天を仰ぐ木

高さ約3mのヤマモモの古木で、木の内側は大人1人が入ることのできる空洞になっています。中から見上げれば青天を仰ぐことができます。

この木は古木のため、中に入る際は木を傷めないようにお気を付けください。また、新型コロナウイルス感染防止のため、木の中に入らず、1人ずつ外側から覗いてご覧ください。



こもれびの小径

喜春橋付近から剛ノ池東側の林内を通る道です。モチノキなどのみどり豊かな林内で、空気が澄んでおり、また林の上からは、明るい木漏れ日が降り注ぐ癒しの小径です。

